

参加者800人を超えました 第15回四條畷 ボランティアフェスティバル開催

年々広がる参加団体の輪

今年で15回を数える「ボランティアフェスティバル」は参加団体も増えました。「翼を広げて市民とつながろう」を合言葉にして、ボランティア連絡会加盟団体を中心に、参加団体とブース展示ワーク



前夜の雨も上がり秋晴れの10月19日、市民活動センターにおいて、第一五四回四條畷ボランティアフェスティバルを開催しました。銭谷市長、藤本市議会議長はじめ多くの来賓の方々のご参加を賜りありがとうございました。

四條畷市ボランティア連絡会だより

四條畷市ボランティア連絡会
代表 山本啓一郎
令和8年2月13日発行

ショップ、模擬店など多くの来場者の方々と交流し賑わいました。舞台発表のほうにも変化がありました。令和6年1月にスタートした男性のコーラスグループ「GOGOボイス」が初登場！その日のユニホームで懐かしの青春ソングをお届けしました。毎年舞台を盛り上げていた「キッズダンス・スパークル」も「なわて子ども太鼓」「PHROV」の

皆さんはじめ10団体が出演いただき会場がたいへんにぎわいました。ありがとうございました。うごきま



市危機管

新企画「避難所でのこと」II体験

本年の企画展示は「避難所でのこと」II体験です。一般市民が抱く「避難所」のイメージはテレビで報道される映像をもとにしています。どの画面からも広い体育館の中でプライバシーもなく雑魚寝している映像から印象はよくありません

そこで最新の避難所を知っていただくことを考えました。日本赤十字社、大阪府災害派遣福祉センター、四條畷市危機管



「男性よ、街に出ておいでよ！」
に届くころ無事スタートしていることを願ってやみません。男性の地域コミュニティへの参加は少ないようです。若い経験ですが当初男性13人でスタートした「ウォーキングの会」ですが、女性が増え男性は亡くなったたり参加できなくなる会員も多くあり最後は男性が13になりました(泣)

人と人とのつながりは新しい活動を生む 代表 山本啓一郎
昨年は「つながる」がキーワードとしてたくさん耳にしました。大阪府市町村ボランティア連絡会の場であったり、主宰する「なわて高齢者大学」の講座の中であったり、「子ども食堂」に関連する活動等たくさんの方々の場で「人と人とのつながる」現場に居合わせました。四條畷のYさんからこんな相談を受けました。「男性の居場所づくりをやりたい。何か良い知恵ありませんか？」そこでなわて高齢者大学の講師のHさんを紹介し、1月の第4週に「男塾」俳句講座をスタートさせることとなりました。この広報が皆さんの元に届くころ無事スタートしていることを願ってやみません。



「アンケート」が届きました。今後には生かします。ありがとうございます。うごきま

サポーターに暇高生2人
昨年引き続き今年も「サポーター」を募集しました。たくさんのご応募ありがとうございました。特に四條畷高校生が昨年からは倍増の22人が参加してくださいました。写真掲載の3人は昨年に引き続き2年連続の参加です！おそろいのピンクのロゴ入りのシャツでサポートしていただき会場が大変活気にあふれていました。終わってしばらく後に集計された「アンケート」が届きました。今後には生かします。ありがとうございます。うごきま



毎年市内の高齢者施設に、訪問でかけます。今年も「四條畷」です。最初にシクラメンの鉢3つを利用者にプレゼントをし和やかな雰囲気の中スタートしました。紙芝居「裂かれた龍」と「舍利吹観音」の民話を二つ。続いて男性コーラス「GOGOボイス」さんの懐かしの青春歌、最後は「さくら会」さんの盆踊り、おなじみの歌に合わせて会場は大盛り上がり楽しいひと時を過ごすことができました。



四條畷市ボランティア連絡会登録団体

グループ名	活動日	発足年月日	活動拠点	主な活動内容
介護ボランティア【ぼほえみ】	毎月第1・第3木曜 13時00分～	S61.11.5	福祉コミュニティセンター2階 他市内福祉施設	介護用品の製作や高齢者施設の依頼修繕の衣服のリフォームや縫い（出向・持ち込み）で行っている。
四條畷おもちゃライブラリー	毎週水曜 10時00分～15時00分	H5.4.1	福祉コミュニティセンター1階	主に布おもちゃの製作をしており、おもちゃの貸出しをしています。おもちゃづくり講習会も行う。
ボランティアグループ【セブン(7)】	毎月第1木曜 13時30分	H8.4.1	市内福祉施設他	作業所や、福祉施設で喫茶交流や買い物支援、季節行事への協力を行う。
精神保健福祉ボランティア【ポコポコ】	第1水曜 13時30分～他	H8.4.1	福祉コミュニティセンター2階 夢丸工房・第二夢丸工房	精神障がいをお持ちの方や家族と交流活動を行う。
ボランティアグループ【さんきゅう】	毎月第2水曜 13時00～他	H10.4.1	市民活動センター内えんじょい 他市内福祉施設	主に訪問介護員3級の資格を持ったものが、地域の方々が自分らしく社会生活が出来るようお手伝いの活動を行う。
移送サービスボランティア【すまいる】	毎月第1月曜 11時00分～ 依頼のある月～金	H12.4.1	市民活動センター内活動室 他	一人で外出が困難な方へ福祉車両を用いたの送迎を行う。
シルバーアドバイザー四條畷(SA四條畷)	第2火曜 10時00分～他	H12.9.2	市民活動センター内活動室 市内福祉施設他	高齢者大学出身者。伝承あそびの普及活動を行う。
なわて子ども食堂	①第1・第3土曜日 ②不定期	H28.7.6	①四條畷市民交流スペース ②市民総合センター	子ども食堂は子どもを守る文化の拠点です。子どもと高齢者の多世代交流の場として食堂を運営しています。
NPO法人 クレヨン・リンク	月水木金 8時～11時 水木金 15時～18時 土日祝 9時～17時 (月曜午休あり・火曜休あり)	結成 H30.6.17 法人設立 R5.2.12	事務所 鶴岡1-11-44	障がい者と地域のつながりのために交流やイベント、学習活動などを行っています。

上記団体への問い合わせは四條畷市社会福祉協議会・亀山まで 072-878-1210

赤い羽根共同募金活動 市内2カ所で実施

11月11日楠公通商店街(シャルの北口)と忍ヶ丘駅の二カ所で延べ17人が募金活動しました。
楠公通 30,427円
忍ヶ丘駅 23,747円
合計 54,174円
ご協力ありがとうございました。



編集を終えて
年を取るほど一年の過ぎるのを早く感じるという。同じことの繰り返しの日常になるからさうだ。誰かに恋するなんてこともなく、幼子の日々の成長を見るでなく、毎日を平々凡々なら一年は瞬く間だ。「抗って！」人を好きになろう「新しいことを始めてわくわくしよう」
初詣の誓いです。(山本)

真夏の万博で展示 ワークショップ

大阪府社協、大阪府市町村ボランティア連絡会、共同募金会が連携し、三井住友海上火災保険株式会社、島本保健事務所が共創メンバーとなり、7月24日、関西万博の西側に位置する「フューチャーライフヴィレッジ」という会場で、手作り「和の手芸品」の展示と、吹田市、和泉市、四條畷市、八尾市から各々1団体が展示の説明とワークショップを開催した。左の写真は四條畷市から参加した「おもちゃライブラリー」のブースを訪れたお客さんの様子です。また、会場に訪れた人々



た、会場に訪れた人々は途切れることなく展示やワークショップに参加しブースは、にぎやかでした。ステージでは「ちよこつとボラ活始めませんか？」をメインテーマに、大阪府社協の新崎園広さんがコーディネーターとして高石市の銭廣幸壮さん、和泉市の芦田三雄さん、四條畷市の山本啓一郎がそれぞれの活動の中から熱い思いを訴えました。真夏の万博会場は大変厳しい環境でしたが、最初で最後の出来事と思えば、頑張りました。

【文責山本】



冷房の利かない観客席は満員

連絡会参加団体・活動報告

ほほえみ 滝 ゆき

「ありがとう」「元気でですか」「破れやボタン付け等直しまさす」針を持つことが好きな仲間が集まって服などの繕いに精を出しています。楽しいイベントの参加があります。四月の花見の季節に、市立コミニティセンターのお茶会です。抹茶を点て、来られた方々への接待で「ありがとう」「おいしいね」等の励ましの言葉。元氣になります。私たちと一緒にボランティア始めませんか！



おもちゃライブラリー 福永エミ子

毎週水曜日の活動と、市のイ



イベント、学校や施設への出張で一年間元気に続けてこられたことを、みんなで喜び合いました。子どもたちや、市民の方々の交流の場で元氣をもらい、次の目標や夢をもらえることが私たちにとって大きな力になります。

万博の会場に「おもちゃライブラリー」の作品を展示することが出来、沢山の外国の人に日本の折り紙を体験していただきました。



なわて子ども食堂・山本啓一郎

25年は新しいことに挑戦したこと。子どもたちに学校以外の「体験」を持ってもらうことです。「大阪未来基金」を活用して、「海遊館と帆船ツアー」



水鉄砲合戦で大はしゃぎする(星の郷)

と交野市の「星の郷いわふね」でのお泊り、パーベキュー、星空観察、水鉄砲合戦です。二つの企画にそれぞれ40人ほど参加してくれました。



子どもたちみんな舞台を盛り上げ記念写真

NPO法人クレヨン・リンク 理事長 井上明博

障がいのある方が当たり前に暮らせる地域を目指し、楠公の一軒家で居場所づくりを行っています。障がい者手帳をお持ちでない方も、どうぞお気軽にお越しください。

主な行事として、社会見学のバスツアーや料理教室、ポッチャ大会などを開催しています。普段は、卓球部、俳句会、ストレッチ教室、茶話会、ペーパークラフトなどの活動があり、そのほかにも「こんなことをしたい」という声にも、できる限りお応えしたいと考えています。

「参加したい」「お手伝いできる」という方はもちろん、「一度見に行ってみようかな」という方も、どうぞお気軽にのぞきにいらしてください。



すまいる 米澤弓子

「すまいる」は現会員9人で仕

事と両立しながら、利用者様を病院などに移送しています。どちらかという地道なボランティア団体です

利用を待つておられる方の要望に少しでも応えたい為に、活動に参加していただける仲間を増やしたい願いで、フェスティバルに参加しました。

当日は野菜などの販売や、車いすでの乗車体験を催し、賑やかなひと時を過ごし、会員達も来場者と、和気あいあいと交流を深めた一日となりました



ポコポコ・園田 昭

四條畷精神保健福祉ボランティア「ポコポコ」は、今年三十周年を迎えます。社会福祉法人なわて会運営の夢丸工房 第二夢丸工房利用の皆さんに寄り添い催しや活動に取り組んで参りました。近年、催しや活動は少なくなりりましたが、皆やる気十分

頑張っています。

夢丸工房 第二夢丸工房の新施設も2024年、以前の跡地に完成し、別々になっていった第二夢丸工房も合流し、新たな「夢丸工房」として歩み始めています。今後とも利用者の皆さんに心を寄せ、活動に取り組んで参ります。



さんきゅう・坂井晴子

子ども食堂のハロウィンパーティーに参加し、楽しいひと時を過ごして来ました。子供達が嬉しそうに仮装し笑顔で食事をしたり遊んでいる姿を見て、私自身もたくさん元氣をもらいました。ハロウィンパーティーを通し、子供達や保護者の方々とふれあい、地域全体で子供達を見守り、育むという子ども食堂の活動を肌で感じる事ができ、大変有意義な時間を過ごしました。



ボランティアセブン・田中紀子

私たちは日本家屋に住みながら、和室の「ふすま」について考えることもなかったのですが、京都府木津川市で見学できる好機があり、社会見学として、行ってまいりました。

全国で使う「織物ふすま紙」の8〜9割が木津川市で製造されているそうです。伝統産業として、昔からの製法を守り、新たな加工技術を加えた製品を作っ



SA四條畷 塩野孝子

大阪府シルバードバイザー連絡協議会は設立35周年を迎えました。

SA連絡は19地区で、591名の会員が活動しています。SA(シルバードバイザー)四條畷は、令和7年9月から畷小の放課後子ども教室に参加しております。子ども達の楽しそうな笑顔から高齢者は沢山の活力を頂きます。大阪高齢者大学校が発刊した「高齢者が動けば社会が変わる」という本、私達高齢者が子ども達と関わり、活動を体験する事で、少しでも社会貢献が出来るよう精一杯の活動をして行きます。

